

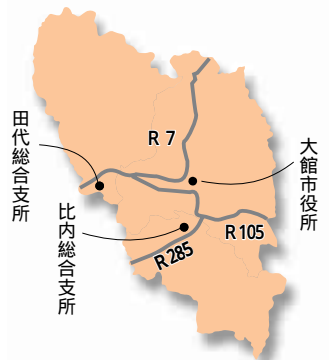
来場者に火災予防を呼び掛けました



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド<sup>41</sup> 市民の皆さんが たくさん登場

今回訪ねたのは  
「秋の火災予防運動」  
H20.11.2取材



**数** 日前、田代岳山頂部に冠雪が見られ、いよいよ冬到来。もうストーブの前から離れられません。今回は、火災が発生しやすい季節を前にした「秋の火災予防運動」をターゲット。まずは、火災予防キャンペーン会場の大型店にレッツゴー！

**お** 店の入り口で、来店者に元気良く声を掛けチラシやポケットティッシュを配っていたのは、いざという時には消火用のポンプも操作するという女性消防団の皆さん。平成3年の発足当初はポンプ操作を一生懸命習ったんです。今は住宅用火災警報器のチラシ配布や普及活動に力を入れているの。お年寄りや子供たちを私たちが守ってあげないで誰が守るのってこういう気持ちで取り組んでいます」と力強く答えられたの



ケイ子さん(左)と牧子さん

は第26分団長の戸田ケイ子さん(池内)。29人の団員をまとめる第25分団長の奥村牧子さん(中通)は、最初は、毎日がポンプ操作の訓練で大変だったの。発足した時は30代が多かったんですけど、今は平均年齢50歳。でも、昨

年の全国消防操法大会で準優勝したら、入りたいって言う若い人が出てきたの。団員を増やすためにも頑

張らないとね。通学路に立って、子供たちを見守るといってケイ子さん。「みんな元気に『みずばあ、おはよう』って声掛けてくれるの。みずばあ？」「瑞穂(小2の孫)のおばあちゃんのみずばあ(笑)」。地域のために頑張る女性消防団の皆さんに敬礼！

**比** 内地域五日市町内では、住民参加の防火訓練が行われていました。あいにくの雨の中、ウーウーと鳴り響くサイレンの音で、いざ訓練開始！集まってきた皆さんに広報用ポケットティッシュを配っていたのは、高橋美枝子さん(五日市)、畠山恵子さん(五日市)の2人。「消防署の職員に頼まれたの」と恵子さん。消火器を使った訓練では、「使ったことがなかったけど、やってみたいかって言われては、いっつて気軽に引き受けちゃった(笑)」。でも一発で消火はお見事でした！

聞くと2人はご近所で大の仲良し。「年祝いも一緒にやったし、買い物や食事に出掛けるのも一緒」と笑顔で話す美枝子さん。最近健康の話で盛り上がるそうですが、やっぱり健康第一!!



仲良しの美枝子さん(左)と恵子さん